

民間開発 の シゴト



Private development

土地の造成、或いは建物や工作物の建築などの開発事業を行うにあたっては、多くの事業にて、土地条件などを考慮した計画や法条例に基づく許認可を受けることが必要となります。
わたしたちは、その土地にお客様がどのような施設・利活用を求めているか、常にお客様のニーズに応えるべく、計画力や技術力の向上を図りつつ、それらの事業をトータル的にコーディネートしながら、ソリューションサービス（技術提案・問題解決等）に取り組んでいます。また、「事業用土地をお探しの方」或いは「遊休土地の売却・賃貸をご希望の方」について、土地情報や企業情報を発信しつつ事業実現の一翼を担っています。



50年の実績から夢ある100年へ

総合建設コンサルタント

株式会社 東 白



〒410-0022 静岡県沼津市大岡 2240 番地の 16

TEL 055-921-8053

受付 / 平日（月曜日～金曜日） 8:30～17:30

▼工場・商業施設

工場や研究・研修所、保養所、商業（店舗）施設、集客施設などの事業化を図るお客様について、円滑な事業化とその促進に資するために、事前調査から計画、設計、許認可、工事、竣工に至るまでのトータルなサービスを提供しています。

●アマダ富士宮事業所建設事業

場 所：静岡県富士宮市北山地内

工 期：昭和 56 年～平成 21 年

施 設：敷地面積 約 760,000 m²

金属加工機械工場 5 棟、開発センター棟 1 棟、
エネルギー棟 2 棟、防災調整池 7 箇所他

担当業務：測量、地質調査、環境調査、

土木設計・開発申請、土木工事監理

昭和 56 年の測量着手から 28 年もの時間をかけて段階的に工場を建設し、この度完成。着工当時一面は杉や桧の荒れた森林であったが、現在はその面影はほとんどなく、25 年前植樹した苗木が成木となり、時の流れを感じる。時代の変化とその時々へのニーズに応えられような情報力と技術力を結集した業務であった。



●大東紡スクエア サントムーン柿田川 開発事業

場 所：静岡県駿東郡清水町玉川地内

施 設：施設面積 約 110,000 m²

店舗、シネマコンプレックス、駐車場等

担当業務：測量、地質調査、土木設計・開発申請

シネマコンプレックス導入のための地区計画、柿田川湧水の保護のための排水計画、地下調整池の配置と建物との関連、国道 1 号を始めとする近隣道路への交通対策等々、難題をクリアーした開発許認可業務であった。



▼住宅・別荘・リゾート施設

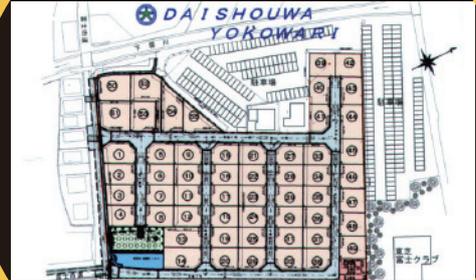
住み良い環境やゆとりと安らぎのある施設環境などの創出に資することを旨し、戸建て住宅や別荘分譲、リゾート施設、観光施設レジャー施設などの事業化を図るお客様について、事前調査から計画、設計、許認可、工事、竣工に至るまでのトータルなサービスを提供しています。

●大昭和住宅横割宅地開発事業（横割ニュータウン）

場所：静岡県富士市横割四丁目地内
施設：宅地 55 区画（165 m²～194 m²）
給排水・ガス・公園・調整池等

担当業務：土木設計・開発申請、設計監理

計画地が平坦であること、現況河川流域の制約及び放流河川が小断面であるため、全体に対する雨水排水及び防災施設に検討を要した。計画地盤を上げることは容易だが、単純に盛土量等が増加し工事費が上がり販売価格に影響する。同様に調整池に関しても上面を公園と兼用にする工夫と同時に各種防災施設構造の経済比較及び防災施設面積と宅地面積の割合などを比較検討し、経済バランスを重視した計画となっている。



●GRAND XIV GOLF & SPA RESORT

場所：静岡県浜松市村櫛地内

施設：ゴルフ場 723,000 m²

18 ホール 7015 Y Par72

担当業務：土木設計開発申請、ゴルフ場実施設計、
ゴルフ場設計監理

湖面に浮かぶ美しいリゾートコースであり、世界的トーナメントも望める本格的なチャンピオンコースを実現。湖と豊かな緑に囲まれた個性的なロケーションの中、美しい景観とチャレンジする愉しみあふれた 18 ホールの創出。



▼その他

健康社会やゆとり社会の実現、少子高齢社会、環境保全、循環型社会他、その他の地域ニーズの実現などの事業化を図るお客様について、事前調査から計画、設計、許認可、工事、竣工に至るまでのトータルなサービスを提供しています。

●ふれあい南伊豆ホスピタル新築事業

場 所：静岡県賀茂郡南伊豆町地内

施 設：敷地面積 約 11,302 m²

担当業務：土木設計・開発申請、設計監理

当事業は、既存病院の老朽化に伴う新病院の建設が目的であり、弊社は土木造成設計・開発許認可申請・設計監理に携わった。新病院建設敷地と接続道路は高低差が10m程度であったものの、接続道路から新病院建設敷地までの距離がなく、かつ利用者駐車場を設けなければならなかったため、アプローチ道路・敷地造成設計に苦慮した。また、敷地造成において擁壁を多様しなければならなかったが基礎地盤の土質が軟弱であったため、擁壁形式選定並びに軟弱地盤対策を総合検討し、経済バランスを図った計画とした。

